

学 科	鍼灸マッサージ科	学年	3 年	期別	通年	科目の実務経歴	有	
授業科目名	臨床実習			担当教員	杉山(慶)・餌取・城田、山梨、豊田			
授業の方法	講義・演習			単位数	2 単位	時間数	90時間	
学修内容	臨床で行われている様々な治療法についてその概要を知り、臨床の場で応用できるような知識・技術を身につける。							
授業の到達目標	II. 医学的知識 1. 人体の正常な機能と構造 III. 基本的臨床能力 5. あはき施術を安全かつ適切に行う能力							
授業計画	前 期				後 期			
	回	テーマ	テーマ	回	テーマ	回	テーマ	
	1	オリエンテーション	16 治療実習②(2名×2組)/ 刺鍼・施灸練習	1	前期総合復習①	16	フィードバック/予備日	
	2	刺鍼・施灸演習 練習課題①	17 治療実習③(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	2	前期総合復習②	17	予備日	
	3	刺鍼・施灸演習 練習課題②	18 治療実習④(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	3	評価実習①(1名×2組)/ 反復練習	18		
	4	刺鍼・施灸演習 練習課題③	19 治療実習⑤(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	4	評価実習②(1名×2組)/ 反復練習	19		
	5	刺鍼・施灸演習 練習課題④	20 治療実習⑥(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	5	評価実習②(1名×2組)/ 反復練習	20		
	6	刺鍼・施灸演習 練習課題⑤	21 治療実習⑦(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	6	評価実習③(1名×2組)/ 反復練習	21		
	7	刺鍼・施灸演習 練習課題⑥	22 治療実習⑧(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	7	評価実習④(1名×2組)/ 反復練習	22		
	8	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針 講習	23 治療実習⑨(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	8	評価実習⑤(1名×2組)/ 反復練習	23		
	9	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針 講習	24 治療実習⑩(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	9	評価実習⑥(1名×2組)/ 反復練習	24		
	10	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針	25 治療実習⑪(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	10	評価実習⑦(1名×2組)/ 反復練習	25		
	11	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針	26 治療実習⑫(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	11	評価実習⑧(1名×2組)/ 反復練習	26		
	12	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針	27 治療実習⑬(2名×2組) /刺鍼・施灸練習	12	評価実習⑨(1名×2組)/ 反復練習	27		
	13	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針	28 予備日	13	評価実習⑩(1名×2組)/ 反復練習	28		
	14	演習:医療面接～病態把握 ～治療方針	29 外部評価実習オリエンテー ション	14	評価実習⑪(1名×2組)/ 反復練習	29		
15	治療実習①(2名×2組)/ 刺鍼・施灸練習	30 総合演習	15	評価実習⑫(1名×2組)/ 反復練習	30			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)							
評価方法	評価実、カルテ評価、症例報告(臨床推論内で実施する症例報告会の評価を加味します。), 平常点			実務経歴	杉山(慶):教員歴:5年			
履修上の注意	3年間で学んだ知識と技能の総合的能力が試される授業になりますので、日々の練習を心がけてください。			授業時間外の学習	医療面接、整形外科的理学検査の復習をしっかりと行なってください。			
使用教材	配布資料・東海医療学園「臨床実習ハンドブック」 臨床実習診療録のコピー・症例報告書			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。			